

歴史認識問題とは何か

歴史研究室

教授 西岡 力

歴史認識問題とは「歴史教科書記述や戦没者追悼方法など主権国家の内政に属する歴史認識に関わる事象に対して他国政府が干渉し、外交問題化すること」をいう。

わが国における歴史認識問題は、1982 年中華人民共和国と大韓民国が日本の検定済み歴史教科書の記述について修正を求めたことを嚆矢とし、1985 年の中国による首相の靖国神社参拝抗議と 1992 年慰安婦強制連行プロパガンダ以降、本格化した。

以下のような 4 要素が絡み合っている。第 1 に、日本国内の反日マスコミ・学者・運動家が事実
に反する日本非難キャンペーンをはじめめる。第 2 に、中国と韓国両政府が正式な外交問題にして
「内政干渉」的要求をする。第 3 に、わが国外交当局が反論をせず、謝罪し、譲歩する。第 4 に、
内外の反日活動家が以上の経緯を悪用して事実無根の日本非難を国際社会で拡散する。

内外の反日勢力は 30 年以上の年月をかけて虚偽まみれの反日キャンペーンを展開してきた。悪
意を持って国家次元で大規模に展開されてきたキャンペーンの悪影響を払拭するには、わが国も国
家次元で事実に基づく反論を体系的かつ持続的に展開するべきである。